



会 長 安部 敏弘 副会長 佐藤壮一郎 クラブ会報 菅野 秀夫
 会長エレクト 穴戸 光英 幹 事 阿部 佳文

会長あいさつ

会長 安部 敏弘



ロータリーは世界をつなぐ

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと

「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方向が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類をみません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ根絶活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちは、グローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行

動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちは、ロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。

しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方向や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより深く深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

本日のプログラム

ガバナー補佐訪問

7月のプログラム

第1220回例会：7月11日(木) / ガバナー補佐訪問

7月18日(木) / 休会

第1221回例会：7月25日(木) / クラブ協議会(前半)

幹事報告

会員増強委員会セミナーのご案内

◆日時 / 令和元年7月27日(土)
午後1時～

◆場所 / ホテル華の湯

●国際ロータリークラブ会長
マーク・ダニエル・マローニー

●国際ロータリー 2530 地区ガバナー
芳賀 裕 (福島中央RC)

●県北第一分区ガバナー補佐
遊佐 金一 (二本松 RC)

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 一、真実かどうか
- 二、みんなに公平か
- 三、好意と友情を深めるか
- 四、みんなの為になるかどうか

創 立 1993.6.30
 承 認 1993.9.10
 認証状伝達式 1993.11.8
 地 区 番 号 2530
 クラブ番号 29750
 例 会 日 毎週木曜日(12:30～13:30)

例 会 場 二本松商工会議所
 事 務 局 〒964-8577
 福島県二本松市本町 1-60-1
 二本松商工会議所
 Tel0243-23-3211
 Fax0243-23-6677

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。

また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人に合わせて現実的になかつ管理可能なものとする事で、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-21年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりよう。

ロータリーの友 7月号朗読

来訪ロータリアン紹介

ガバナー補佐 遊佐 金 一様
補佐幹事 内藤 哲太郎様
補佐幹事 浜崎 広志様
(二本松ロータリークラブ所属)

米山記念奨学生奨学金授与



米山記念奨学生・楊入聖さん

ごあいさつ

ガバナー補佐

遊佐 金 一様
(二本松ロータリークラブ)



みなさんこんにちは

国際ロータリー第2530地区 2019-20年度 県北第一分区ガバナー補佐を務めます遊佐金一です。入会は1992年、今年で28年目になります。職業分類は運送業です。所属は二本松ロータリークラブです。

第一回のガバナー補佐訪問に、同じ二本松ロータリークラブの内藤哲太郎幹事と、濱崎広志幹事と訪問致しました。

まずもって、二本松あだたらロータリークラブ安部敏弘会長、阿部佳文幹事はじめ、35名のクラブ会員のもと、素晴らしい一年がスタートされますこと心からお祝いを申し上げます。

また、本年度二本松あだたらロータリークラブは、創立より27年目の年を迎えます。常日頃は、二本松ロータリークラブの同じエリアの中で、大変お世話になっておりますこと心より敬意と感謝と申し上げます。

さて、安部会長は本年度の基本方針として、会長、幹事のクラブではなく「主役は活発な委員会活動」にあり、各大委員長を軸にそれぞれの委員会活動を企画実践して頂ける様に、会長幹事は、黒子に徹し、委員会の活発化を促して参りたいと述べております。

会長取り組みとして3つの目標を掲げております。

- ①RI 100年の歴史の中、「ロータリーとは？」を共に学び共に行動すること
- ②(平成から令和へ) 過去・現代・未来を見据えた時代に合わせたクラブの改革に挑戦すること
- ③会員の高齢化が課題とされる中、魅力あるクラブの

創造と会員増強の実現

以上の3項目を掲げ、一年間活動を行うと力強く、抱負を述べております。一年間、大いにリーダーシップを発揮して実りのある一年にして頂きたいと思っております。

それでは、今回の第一回ガバナー補佐訪問の本題に入ります。

2019-20年度RIテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。このテーマを最初に聞いたとき、とても分かりやすく、あまりにも奥深い事と感じました。県北7クラブには、それぞれ素晴らし事業が地域に溶け込み育っており、それらの活動や運動を「つながり」を持ちながら大きく成長させ、「会員の絆」を大切に色々な事にチャレンジしていきたいと思っております。

さらに本年度は、2020東京オリンピック・パラリンピック、更には聖火リレーの福島スタートの準備が本格化します。復興五輪としてこれまで国内は勿論、世界中のロータリアンから頂いた御支援に対する感謝の思いと、本県の復興が着実に進んでいる姿を発信する絶好の機会であります。県北7クラブと連携をしながら確実に先に進めたいと思っております。

これから、県北7クラブに積極的に足を運び、クラブ会員が笑顔になるよう、全力を尽くして参ります。皆さんの一層の御支援と御協力をお願い致します。

本日は国際ロータリー第 2530 地区、県北第一分区についてお話をします。

我々の県北第一分区であります。福島RC・二本松RC・福島南RC・福島西RC・福島中央RC・二本松あだたらRC・福島21RCの7クラブによって構成をされております。地区内は8分区に分かれており、いわき分区・会津分区・県中分区・県南分区・県北第一分区・県北第二分区・相双分区・中央分区となっております。

当県北第一分区の本年度の会員数356名でのスタートであります。

今年度の分区の行事について説明をします。

まずはじめに、二本松あだたらロータリークラブの皆さんにお世話になる「親善ゴルフ大会」であります。来年4月12日(日曜日)二本松市の安達太良カントリークラブにて開催を予定しております。スポーツを通して会員相互の親睦をはかる大切な行事でありますので是非とも多くの参加をお願いします。また、ホストクラブとして準備から運営までよろしくをお願いします。

次に「ガバナー歓迎晩餐会」であります。今年11月21日(木曜日)二本松市のウエディングパレスかねすいで開催を予定しております。本年度は昨年同様の県北第一分区からガバナーを輩出したということで、芳賀ガバナーを県北第一分区あげて盛大に開催をしたいと考えております。皆さまの多くのご参加をお願いします。ホストクラブは私が所属する二本松ロータリークラブです。

続いて「新世代会議」であります。今年11月23日(土曜日)福島市のクラークリアンテサンパレスで開催を予定しております。以前の4大奉仕から2010年の規定審議会会で新世代奉仕が加わり、5大奉仕となりました。さらには2013年の規定審議会会で「新世代奉仕」から「青少年奉仕」へと名称が変更されました。この短い間に新世代やら青少年やらと規定審議会等R Iにおいて頻繁に議題にあがること事態、世界のロータリーの中で青少年奉仕部門の重要性を物語っていると思います。青少年、そして若い世代の社会人のリーダーシップ育成のために、どうぞご参加とご協力を宜しくをお願いします。

また今年度は福島南ロータリークラブで青少年交換留学生を受け入れる予定です。分区1名あたり1,500円のご支援をお願いすることとなりましたので、ご理解とご協力をお願いします。新世代会議のホストクラブは福島南ロータリークラブです。

次に「あれこれなんでも相談会」であります。来年2月2日(日曜日)福島市のコラッセふくしまで開催を予定しております。これは福島中央R Cが主催で毎年行われており、今回で20回目の開催となります。ロータリアンが自分の職業を生かして行われ、それぞれの分野での相談会が同時開催という相談会は他にはなかなか無いようです。職業奉仕の最たるものでありますので、講師派遣依頼には出来る限りのご協力をお願いします。

続いて「新会員オリエンテーション」であります。来年2月3日(月曜日)に福島市で開催を予定しております。出来る限り、入会3年未満の方々には参加をお願いしたいと思います。ある調査によりますと新会員オリエンテーションを開いているクラブは、開いていないクラブに比べて、会員維持率が高いことがわかっています。またロータリーにはメンター制度と言うものがあります。常に相談に乗ったり、質問に答えることができる会員が傍にいる事は非常に心強いものだと思います。会場など決まり次第ご案内させていただきます。ホストクラブは

福島西ロータリークラブです。

次に「IM インターシティミーティング」です。来年3月13日(金曜日)福島市のウエディングエルティで開催されます。IMは分区単位、そして大都市の場合は、数クラブの会員が集まり合同で行う自由討論会です。今年度は芳賀ガバナーも参加頂き開催される予定であります。決議や決定などはありません。さらにはIMへの出席はメイクアップとなりますので多くの参加をお願いします。今回の講演会の内容や共通テーマに関しては決まり次第皆様にお伝えしたいと思います。ホストクラブは福島ロータリークラブです。

続いて「麻薬乱用防止キャンペーン」であります。例年通り来年の6月に開催をされる予定です。今年度も「県北地区薬物乱用防止推進協議会」が主催しているキャンペーンに合流をして実施されます。担当は福島西RCです。

また二本松あだたらロータリークラブの皆様におかれましては、我々二本松ロータリークラブと共に、同じ時期6月に独自のキャンペーンを毎年行っていただいておりますので、本年度も引き続きよろしく願いいたします。

最後に「次期幹事セミナー」であります。開催日時や場所は決まり次第ご案内します。

クラブ幹事は言うまでもなくクラブ運営の要であります。次年度幹事予定者は必ず出席をお願いします。ロータリーでは会長と幹事の両名がクラブの代表ともいえるもので、特に幹事は運営の責任者であり、事務局等のクラブ管理に関する実務的事項はすべて幹事が窓口でとても重要なポストであります。ホストクラブは福島21ロータリークラブです。

以上分区行事の説明でありましたが、二本松あだたらロータリークラブの事業として、米山奨学生の受け入れ、霞ヶ城公園の清掃活動や国際奉仕活動など、多くのクラブ行事で大変お忙しいかと存じますが、分区行事にも特段のご理解とご協力を宜しくをお願いします。

また、芳賀ガバナーの地区の主な行事予定について話します。

来月8月4日(日曜日)にR I会長のマーク・ダニエル・マローニー会長が福島県に来県されます。行事内容と致しましては8月4日は福島中央ロータリークラブが福島市駅前西口のザ・セレクトンにて「創立30周年R I会長訪問特別記念例会」として出迎え、ウィーン国立音楽大学生の吉田昂城君のピアノ演奏会が開催される予定されております。

その後、R I会長は福島市の穴原温泉に宿泊します。8月5日は浪江町にてR I会長による復興記念植樹と被災地視察を行います。南相馬市におきまして相双分区6クラブ合同例会、同じくグローバル補助金実施地の南相馬市にて菜の花搾油所見学を予定しております。

R I会長歓迎晩餐会は裏磐梯レイクリゾートホテルで私や県北第一分区の会長さん、幹事さんも参加します。

地区の役員も含めて240名の参加と聞いております。
翌日8月6日は会津若松市の鶴ヶ城などを訪問され郡山
駅より東京に向います。

また、2019年10月26日(土曜日)より27日(日曜
日)まで地区大会が福島市で開催されます。

一日目の26日は福島市クーラクーリアンテサンパレス
で開催します。

二日目の27日は同じく福島市のパルセいざかで開催
されます。

その他詳しい内容は、決まり次第ご案内させていただきます。

会員の皆さんのご協力とご参加宜しく申し上げます。

また、2020年3月21日(土曜日)より22日(日曜日)
まで、復興フォーラムが地区大会の記念事業として開催
されます。参加対象者は、地区内のすべての会員と地区
外のガバナー、復興に関わりのあるロータリアンの予定で
す。こちらは、福島南ロータリークラブの大橋パストガバナー
が実行委員長で、副実行委員長が我々本年度2530地区
のガバナー補佐を務めます。

内容は、まだ予定の段階ですが、

一日目が「被災地現状視察」

「吉田昂城君の帰国演奏会と参加者懇親会」

二日目が福島市のパルセ飯坂で、

午前の部が「青少年シンポジウム」

午後の部が「フォーラム」を予定しております。

フォーラムの内容と致しましては、

①東日本大震災の概要

②被災時の対応

③世界(国内)のロータリーからの支援

④被災で得られたもの(新たに生まれたもの)

⑤これからのロータリーの活動へ

以上が復興フォーラムのプログラムの予定です。

その他詳しい内容は、決まり次第ご案内させていただきます。

おわりになりますが、今後のガバナー補佐訪問の二本
松あだたらロータリークラブの訪問日程予定を報告致し
ます。

次回の第2回目が来月2019年8月8日木曜日、第3
回目が2019年11月7日木曜日、こちらは芳賀ガバナー
と一緒に訪問します。第4回目が2020年2月6日木
曜日、最後の第5回目が2020年4月9日木曜日の予
定です。

むすびに、これから一年間、県北第1分区の会員の皆
さまの「つながり」と「会員の絆」を大切に、またご理解と
ご協力をお願いしまして、内藤幹事と浜崎幹事と力を合
わせて、県北第1分区の事業と目標達成のために「気合
を入れて」務めさせていただきます。

なお、国際ロータリー マーク・ダニエル・マローニー
会長の会長テーマ、そしてロータリー賞については、是
非マイロータリーをご覧いただきたいと思ひます。

芳賀年度・安部年度、始まったばかりでございます。
1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

以上 ガバナー補佐 遊佐金一の第一回ガバナー補佐
訪問のあいさつとさせていただきます。ご清聴誠にあり
がとうございました。

ニコニコ  BOX

にこにこ BOX 小委員長 菊地 久子

分区分区幹事／内藤哲太郎様、分区分区幹事／浜崎広志様、安部敏弘会員、阿部佳文会員、
菅野守芳会員、齋藤敏夫会員、佐藤壮一郎会員、佐藤智彦会員、菅野秀夫会員、
善方邦雄会員、

* 米山記念寄付者・・・善方邦雄会員、佐藤壮一郎会員

* ロータリー財団・・・菅野守芳会員

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

出席委員会 小委員長 根本 和行

会員数	本日出席	出席率	メイクアップ	修正率
34名	16名	47%	4名	58%

ニコニコ BOX 

目標額	500,000円
小計	12,000円
累計	30,000円